第１回岡谷市まち・ひと・しごと創生本部本部長あいさつ

H27.3.9　午前11時～　9階大会議室

　「岡谷市まち・ひと・しごと創生本部」設置にあたり、

私から一言申し上げます。

　ご承知のとおり、政府は、人口急減・超高齢化というピンチをチャンスに変える。国と地方が総力を挙げて地方創生を

推進し、国民の意識が変わっていけば、活力ある日本社会に向けて未来が開かれるとして、「地方の創生は日本の創生」との認識の下、新しい国のかたちづくりに取り組んでいくとしており、国と地方による地方創生が本格的に動き始めて

おります。

本市の状況といたしますと、２月１日現在の人口は、

５０，４８６人となり、この１年間で、５４２人が減少し、平成２７年度中には、５０，０００人を割り込むことも現実味を帯びてきている状況にあります。

人口減少に対しましては、出生数の増加と合計特殊出生率の回復が重要でありますが、出生率が直ちに回復したとしても、一定の人口減少が続くことは、もはや避けられない状況と

なっており、人口減少に歯止めをかけるための施策を

これまで以上に展開し、良好な生活環境を守り、安全で安心して暮らしていける魅力あるまちづくりを進めていかなければなりません。

　こうしたことから、国の動きに迅速かつ的確に対応するとともに、早期に対策を講じていく必要があることから、

岡谷市人口問題研究委員会を発展的に解消し、本日、

「岡谷市まち・ひと・しごと創生本部」を設置することと

いたしました。

また、４月１日には人口ビジョン及び総合戦略の策定、

進行管理を着実に推進し、そして戦略的に施策を推進するため「岡谷市まち・ひと・しごと創生推進室」も設置してまいります。

　今後は、この創生本部の下、本市の特徴を活かした

人口ビジョンと総合戦略を策定することで、「しごと」が

「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立やまちの魅力を高め、新たな人の流れを生み出すこと、

その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、「みんなが誇りと愛着をもてるまち」、そんな魅力あふれるまちづくりを進めていくことで、岡谷市の創生につなげてまいりたいと考えております。

　平成２７年中には、中身のある、効果のある総合戦略を

策定し、いかに具現化して実行していくかが重要であり、

求められていると思っております。

人口減少問題を乗り越えるために、全職員が一丸となり、職員一人ひとりの英知を結集し、取り組んでいただくようお願いし、私からの挨拶といたします。